



名護高校だより

2019年9月3日

第8号

校長 大城 健

2学期スタート、充実した学期にしよう！

8月に京都で開催された全国高等学校 PTA 連合会大会に、全国から1万人の学校関係者が参加しました。記念講演において、日本電産株式会社代表取締役会長の永守重信氏が、これからの時代を生きる若者に必要な3つの力を語ってくれました。それは「語学力」「専門性」「人間性」です。名護高校の皆さんには進学、就職先で専門性をしっかり磨き、コミュニケーションツールとしての語学力を高め、礼儀、挨拶、思いやりなど豊かな人間性を身に着け、



校舎改築2期工事

これからのグローバル社会をたくましく生き抜く社会人になってもらいたいと思います。高校時代は、その基礎を築く大切な時です。2学期、1日1日を大切に、全てに全力を尽くしましょう。

海外留学・研修等報告会（中国・アメリカ）



7/19、体育館において「海外留学・研修等報告会」を開催しました。昨年度本校から海外に公的に赴いたのは73名。フロンティア科カナダ研修56名、また国費・県費で7か国(フランス・アメリカ・シンガポール・ミャンマー・ラオス・中国・韓国)17名。発表者の永野七衣さん(3年)は中国上海に短期留学し、文化の違いと、上海の高校生との交流等を通じた自らの成長を報告。発展著しい上海において、貧困層の存在など、中国の課題にも直面しました。

また石田奈帆さん・大城小都羽さん(3年)は、アメリカに派遣され、日米外務省関係者との意見交換や、米國務省・ホワイトハウスの訪問など貴重な体験に恵まれ、若い世代が日本・沖縄の将来をしっかりと考えねばならないことを実感しました。最後に1か月間、アメリカから本校に短期留学しているエヴァン君(1年)が、日本語と英語で、日米の学校生活の違い、楽しさを語ってくれました。

快挙！合唱同好会、県大会優勝！

8/6、第86回NHK全国学校音楽コンクール沖縄県予選において、合唱同好会が北部勢初の金賞(優勝)を受賞しました。合唱経験のない部員が半数以上を占める中、課題・自由曲計3曲の練習に懸命に取り組み、本番では持ち前の澄んだ歌声と細やかな表現力が高く評価されました。8月末に開催された九州大会でも全力を尽くし、大きな経験となりました。



男子ソフトテニス NTT 西日本杯県大会団体2連覇！女子準優勝！



男子団体準決勝、名護 A2-0 知念 A、名護 B2-1 那覇西、何と本校 AB チームが勝ち上がり、名護高同志の決勝対決を名護 A が制しました。個人戦でも大城力也・花田悠馬ペアが優勝、照屋来規・福地想楽ペアが準優勝に輝きました。女子も決勝リーグ(3校)名護 2-1 知念、名護 1-2 八重山の1勝1敗で準優勝に輝きました。

夏休み「受験勉強ツアー」開催



8/20、21の2日間、北九州予備校(那覇市)の協力を得て、「受験勉強ツアー」を開催し、1～3年生の希望者26名が参加しました。目的は、那覇や県外の高校生と共に自学自習をする体験を通して、自分自身の受験勉強法や家庭学習に向かう姿勢を見直す機会にしようというものです。当校時間割の下、授業参加、ビデオ視聴も可で、生徒達は、精力的に取り組んでいました。

琉球大学医学部「地域医療研究会交流会」「体験授業研究」

8/22、昨年に引き続き琉大医学部「地域医療研究会」との交流会が行われ(第3回)、本校から4名の生徒が参加しました。同研究会には本校卒業生の島袋省吾・仲地ユリナ・大城悠海先輩も所属しています。有意義な交流会でした。

また「琉大医学部体験授業研究」に金城羽矢斗君(2年)が参加し、首里高校、興南高校の生徒とともに「ゼブラフィッシュを用いた貧血モデルの作成」に取り組み、研究発表を行いました。



地域医療研究会との交流会